

## トピック

### 2008年の世界一次エネルギー消費量 1.4%増に鈍化(BP統計)

BPの世界エネルギー統計2009年版(BP Statistical Review of World Energy June 2009)によると、2008年の世界の一次エネルギー消費量は11,285 Mtoe (石油換算百万トン)と、前年に続き11Gtoeの大台を超えた。ただ、7月を境とするエネルギー価格の急落、9月以降のリーマンショックから発した金融危機などの影響を受け、OECD諸国を中心に経済が後退したことから、年間の一次エネルギー消費の増分は2003年以来初めて200 Mtoeを下回り、前年比190 Mtoe、1.4%増（伸び率は閏年調整後）に鈍化した(2007/2006年は同284 Mtoe、2.6%増)。

エネルギー源別消費では、石油は前年比0.6%減の3,928 Mtoe、天然ガスは2.5%増の2,726 Mtoe、石炭は3.1%増の3,304 Mtoe、原子力は0.7%減の620 Mtoe、水力は2.8%増の718 Mtoeであった。発電量は1.3%増の20,202 TWhであった。

(計量分析ユニット 呂 正)